

実績と課題・目標

社会と大和証券グループの持続可能な発展に向けたさまざまな取組みについて、1年間の実績を報告するとともに課題と目標を開示しています。

項 目		2004年度以降の課題・目標	進捗状況
コーポレート・ガバナンス		当社グループの戦略を踏まえた、より納得性の高い評価基準の設定	一部済
		「コーポレート・ガバナンス憲章」の制定	継続中
		内部統制システムの一層の充実	継続中
CSRマネジメント		――	-
		――	-
コンプライアンス	グループ全体	「企業倫理ホットライン」への社内理解の向上、定期的な意識調査の実施	継続中
		「自主行動規範」制定の検討	継続中
	大和証券	「法令遵守のさらなる徹底・違反行為の撲滅」「より高いレベルの投資家保護の実現」	継続中
		「コンプライアンス・オフィサー」の設置	済
		「内部管理責任者業務マニュアル」の作成	済
	大和証券SMBC	部門・部室単位でのコンプライアンス研修、eラーニングによる研修の強化	継続中
		「法令遵守のための手引き」の改訂	済
		内部管理責任者用の電子掲示板の設置	継続中
		「内部管理責任者・内部管理者機能の強化」「研修の充実」「部内検査の充実」「法令遵守徹底のための環境整備」	継続中
		コンプライアンス通信の冊子化	済
		情報漏えいリスクへの対応	継続中
情報開示 (ディスクロージャー)		個人株主の保有比率の向上	継続中
		ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの積極的な実施	継続中
本業を通じた取組み	社会的責任投資	「ダイワSRIファンド」の設定、「ダイワSRI投資家セミナー」の開催	済
	経済金融教育	早稲田大学大学院 ファイナンス研究科との提携	済
お客様満足への取組み		「アフターフォローへの継続的な取組み」：お客様との接触頻度を高め、ニーズを把握し、提案の品質向上を図る	継続中
		「基本動作の確認」：基本動作、基本的なサービスの徹底	継続中
		「お客様から見たわかりやすさ」の追求：お客様向けの文書や各種申込書などの表現をわかりやすくする	継続中
		営業体制やサービス体系の改善によるお客様満足度の向上	継続中
人の尊重と人材の活用		障がいを持つ従業員の定着を目指し、業務内容の見直しや職場環境の改善を図る	継続中
		評価の納得度を向上させるための「評価者研修」の充実	継続中
		「大和リーダーシップ・プログラム」の受講者数について、グループ全体で20%を目標とする	継続中
		プロフェッショナルな人材の育成を目指す人事制度の充実	継続中
企業市民として～社会との共生		財団の助成先と連携し、支店を通じた地域密着型の企業市民活動を実施	継続中
		「福祉体験講座」を通じた、グループ従業員のボランティアに対する理解促進	継続中
環境への取組み		グループ従業員の環境意識向上を目的とした環境コミュニケーションの強化	継続中
		事業特性を考慮しながらISO14001導入の有効性について検討	済
		大和総研永代ビルディングにおける温室効果ガス (CO ₂ 換算) の2001年度比削減目標 (1.9%減) の達成	済

参照ページ	2005年度の課題・目標
22-23	役員報酬制度において、現物株式取得制度に替え、行使価格が1円のストックオプションを導入
	役員報酬における株価連動型報酬のあり方についてさらに検討
	主要グループ会社でのシステム監査体制の強化
	個人情報保護法への対応など、テーマ別の監査の実施
24	2007年度末までに大和証券全店舗120カ店で「コンプライアンス、企業倫理・CSR研修」を実施
	グループ従業員のCSRに対する理解の促進
26-27	グループ本社とグループ各社のリーガル・コンプライアンス部門の連携を強化
	法令等の遵守・投資家保護の視点に立った営業活動の徹底
28	苦情・クレームに対する管理体制の強化
	個人情報保護法施行後の対応
	コンプライアンス本部の強化、レベルアップ
	eラーニングのコンテンツを増やし、各部署で現場に即したテーマを選んで研修が行なえる体制を整備
29	これまでに内部監査等により認識したリスクに対する改善策の定着状況の点検を実施
	証券仲介業・個人情報保護に関する事項等を部内検査項目に取り入れて点検体制を強化
30-31	新たな個人株主を増やすため、積極的な情報開示をすすめる
	株主懇談会などのイベントの開催
8-11	SRIの普及・促進（NPO／NGOとの連携を含む）
12-15	ジュニア・アチーブメントの体験型経済教育プログラム「ファイナンス・パーク」への支援
	共同研究への積極的な取り組み
36-37	アフターフォローへの積極的な取り組み
	「店舗におけるIT技術の活用」により店舗の利便性を高める
	幅広いお客様に満足いただける店舗空間づくり
38-41	障がいを持つ従業員の定着を目指し、業務内容の見直しや職場環境の改善に努める
	研修制度の充実
	女性が活躍しやすい職場環境の整備
42-43	より多くのグループ従業員が参加できる自主ボランティアプログラムの充実を図る
44-45	より精度の高い独自の環境マネジメントシステム構築に向けた取り組み
	環境コミュニケーションの促進
	グリーン購入の基本方針を策定

課題の把握と目標の設定

大和証券グループは、社会と大和証券グループの持続可能な発展に向け、さまざまな取り組みを行なっています。私たちは、これらの取り組みについて、当社グループの課題と目標を開示することは、ステークホルダーの皆様への説明責任を果たすうえで重要であると考えています。

2004年度は、2003年度に続き、証券業という本業を通じた取組みとして、社会的責任投資（SRI）の普及・促進活動や、社会の健全な発展のため、NPO／NGOへの支援を通じた青少年への経済・投資教育活動や産学連携に注力しました。また、委員会等設置会社への移行により、経営の透明性、機動性、効率性を重視したコーポレート・ガバナンス体制を整えました。さらに、大和証券においてはお客様のニーズに沿った営業体制の刷新など、お客様満足度のさらなる向上に取り組んでいます。

2005年度は、従来までの取組みに加え、女性が活躍しやすい職場環境の整備やコンプライアンス体制のさらなる強化を目指します。また、グループ従業員の一人ひとりがプロフェッショナルとして業務を遂行するにあたり、共通して遵守、尊重すべきである基本的な考え方をまとめた「大和証券グループ行動指針（仮称）」の作成をすすめます。

環境マネジメントシステムについては調査を踏まえ、現時点ではグループ全体でのISO14001認証の取得はしないという結論にいたっています。今後、独自の環境マネジメントシステムの精度向上に向けた取組みを推進します。